

第3期 宝達志水町
まち・ひと・しごと創生総合戦略
(素案)

令和6年12月

宝達志水町

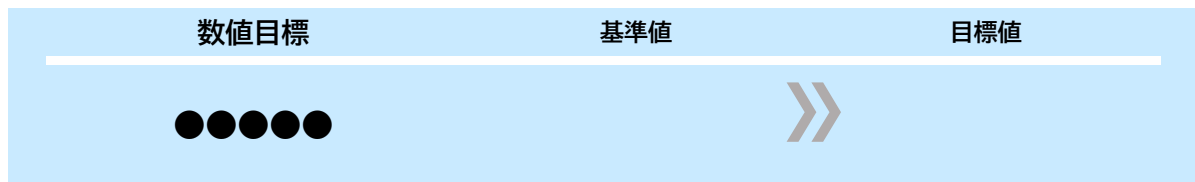
基本目標 1



稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

基本的な方向性

本町の人口維持や増加に向けて重要なのは、町内に就労の機会を創出することです。若者にとって魅力的なまちを目指す上でも、「仕事」の確保は欠かせません。町として、地域の資源や人材を活かした活動を支援し、さらなる発展を促進していくとともに、企業誘致についても引き続き推進します。



具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1-1. 企業誘致や新たな雇用創出への支援

工場適地の整備を行い、企業誘致に向けたプロモーション活動を推進します。また、起業応援の助成制度、相談体制を充実させ、起業しやすい環境を構築します。新規産業の創出と成長を促進させることで持続可能な地域経済の発展を目指します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
企業用地の整備	0㎡（R5）	10,000㎡（R11）
創業塾の受講者数	43人（R2→R5）	50人（R7→R11）
創業・継承件数	13件（R2→R5）	15件（R7→R11）

具体的な取組

- ① 企業誘致事業
- ② 起業・創業等バックアップ事業

① 企業誘致事業

- ・今浜東部工場適地の整備を進め、地域の特性や魅力を具体的に示すことで、企業誘致に向けたプロモーション活動を展開します。雇用機会の拡大を図り、人口流出の防止と地域の活性化を目指します。

② 起業・創業等バックアップ事業

- ・町と創業支援事業者（金融機関、商工会等）が連携し、町内で起業・創業を目指す方に対して、相談や支援が出来る体制の構築を図ります。また、サービス業におけるチャレンジシ

ヨップの支援も推進するなど、多様なバックアップ体制を充実させます。

1-2. ふるさと納税の推進

ふるさと納税の推進を通じて、町の魅力を発信し、地域経済の活性化を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
寄付金額	11億6千万円 (R5)	20億円 (R11)

具体的な取組

① ふるさと納税推進事業 追加

① ふるさと納税推進事業 追加

- ・商工会や事業者と連携を図りながら、返礼品の充実を目指します。返礼品を通じて町の魅力をPRし、ふるさと納税の推進に努めます。また、地域振興や活性化に取り組む団体等の事業に対しては、クラウドファンディング型ふるさと納税の寄付募集を実施し、地域経済の活性化を図ります。

1-3. 地域の特色を生かした農業振興

特色ある農産物の振興や担い手の育成を積極的に推進し、生産体制の強化を図ります。また、農産物のブランド化を推進することで、付加価値を高め、産業の活性化を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
新規就農者数	2人 (R2→R5)	12人 (R7→R11)
ブランド化補助件数	61件 (R2→R5)	63件 (R7→R11)
スマート農業補助件数	1件 (R2→R5)	2件 (R7→R11)

具体的な取組

- ① 新規就農者支援
- ② 農産物等ブランド化推進
- ③ スマート農業の推進 追加 DX

① 新規就農者支援

- ・経営が不安定な就農直後の所得を確保するため、国や県の事業を活用し支援を行います。また、就農前から農作物の栽培管理技術等の習得のための実務研修や里親制度の導入を進め、営農に必要な農地や施設、機械の確保等の支援を行います。また、就農後も町独自の営農相談等の支援を実施し、新規参入者の確保と定着に努めます。

② 農産物等ブランド化推進

- ・農業生産者団体等による地域の特色ある農産物の生産と PR 活動を積極的に支援し、農産物のブランド化を促進することで、生産活動の持続化と発展につなげます。
- ・また、ふるさと納税の返礼品として活用できる農産物の商品開発にも努めます。

③ スマート農業の推進 追加 DX

- ・農業の生産性向上や効率化を図るため、ICTやAIなど新しい技術を活用した次世代農業への取組を推進します。

基本目標2



本町とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる



本町の魅力を積極的に発信し、経済的支援策を充実させるとともに、居住環境の整備に取り組むことで、本町への移住・定住を促進していきます。また、町の豊かな自然環境を活用した観光イベントやスポーツイベントを通じて交流人口の拡大を図ります。



具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

2-1. 移住・定住の促進

まちの魅力を積極的に発信し、移住支援を充実させることで、移住者の増加を図ります。また、住宅取得者に対する経済的支援を充実させるとともに、特に若い世帯を対象とした制度を整備し、定住人口を促進し、地域経済の活性化を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
マイホーム取得奨励金件数	108 件（R2→R5）	➡➡ 150 件（R7→R11）
町外転入加算対象件数	72 件（R2→R5）	➡➡ 100 件（R7→R11）
暮らし体験件数	158 件（R2→R5）	➡➡ 180 件（R7→R11）

具体的な取組	
① 移住促進事業	追加
② マイホーム取得奨励金	
③ 若者世代の定住の促進	

- ① 移住促進事業 **追加**
 - ・まちの魅力を移住希望者に向けて発信していくとともに、移住コーディネーターと連携し、移住支援を行います。また、実際に本町での生活を体験することで、まちの魅力を実感してもらう「暮らし体験事業」を推進します。
- ② マイホーム取得奨励金
 - ・定住促進のための経済的支援として、住宅を新築または購入して、生活される方に対して奨励金を交付します。

③ 若者世代の定住の促進

- ・町内の民間賃貸住宅に入居する夫婦世帯に対して、家賃補助を行います。また、若者通勤サポート事業として金沢市以南及び県外の就労場所に通勤している方に対し、補助金を交付します。

2-2. 生活基盤の充実

宅地造成の推進、民間賃貸住宅建設への補助を行い住宅供給の充実を図ります。また、多様な住宅ニーズに対応するため、空き家の利活用を進めます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値		目標値
分譲区画数	2件（R2→R5）	》》	50件（R7→R11）
民間賃貸住宅建築件数	0件（R2→R5）	》》	5件（R7→R11）
空き家バンク登録物件の成立件数	51件（R2→R5）	》》	75件（R7→R11）

具体的な取組

- ① 宅地造成の推進
- ② 民間賃貸住宅建設補助
- ③ 空き家バンク **DX**

① 宅地造成の推進

- ・地域の特性を考慮し、町民のニーズに応じた生活環境を実現するために、計画的な宅地造成を推進します。

② 民間賃貸住宅建設補助

- ・地域における賃貸住宅不足の解消を図り、住環境の向上を目指すため、民間事業者に建築費用の一部を助成します。

③ 空き家バンク **DX**

- ・空き家バンクへの登録物件を増加させるため、空き家バンク制度の周知を行います。また、登録奨励金や改修に要する経費の一部助成など、補助制度の充実に取り組みます。さらに、登録された空き家については、WEB上での事前閲覧を可能とし、利便性の向上を図ります。

2-3. スポーツ交流の推進

スポーツイベントの開催を通じて、スポーツによる交流人口の拡大を図るとともに、スポーツツーリズムの環境を整備します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
スポーツイベント参加人数	1,503人 (R5)	2,000人 (R11)

具体的な取組

① スポーツイベント振興

① スポーツイベント振興

- ・宝浪漫マラソンの開催を契機として、町の知名度向上やイメージアップ、さらには地元産物のプロモーション展開を図ります。

2-4. ふるさと観光の振興

豊かな自然環境や食文化、産業などの地域の魅力を広く発信し、交流人口の増加を目指します。また、ふるさと会との連携を強化し、地域経済の活性化と持続可能な観光振興への取り組みを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
観光客入込数	672,627人 (R5)	800,000人 (R11)
支援イベント参加者数	25,603人 (R5)	30,000人 (R11)
ふるさと会の会員数	関東 342人 関西 103人 (R5)	関東 400人 関西 150人 (R11)

具体的な取組

① 官民共創まちづくり戦略の推進

② 観光イベントの支援 追加

③ ふるさと会との連携

④ 観光スポットの整備 追加

① 官民共創まちづくり戦略の推進

- ・地域経済の好循環及び地域の振興を図るため、商工、農林畜水産業、観光、文化、移住・定住促進関係など、まちづくりに関わる多様な関係者がそれぞれの立場を超えて、「宝達志水町官民共創まちづくり戦略」を共に創り上げ、戦略に関わる関係者の役割を明確にすることで、効果的かつ効率的に戦略を実践し、新たなまちを創出していきます。

② 観光イベントの支援 追加

- ・なぎさドライブウェイ、宝達山などの地域資源を活用したイベントの実施支援を行い、地域経済の活性化と観光客誘致を図ります。

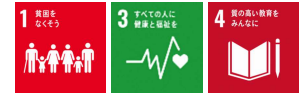
③ ふるさと会との連携

- ・ 関東ふるさと会及び関西ふるさと会と連携を強化し、関係人口の拡大を通じて賑わいの創出やまちづくりを推進することで、持続可能な地域づくりに繋がります。

④ 観光スポットの整備 **追加**

- ・ 豊かな自然環境を保全し、能登半島国定公園に含まれる今浜海岸などの観光資源を効果的に活用するとともに、宝達山頂公園などの観光施設についても適切な管理を行います。

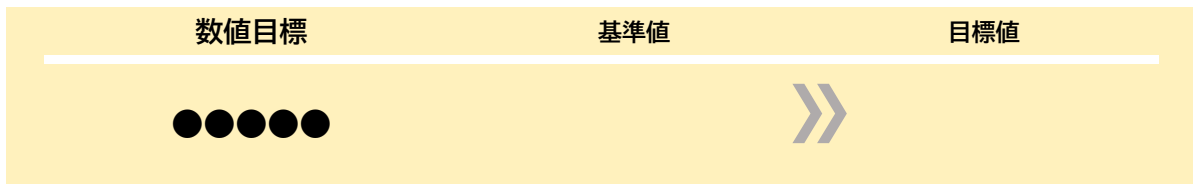
基本目標3



結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的な方向性

本町の少子化克服には、「宝達志水町で子育てをしたい」と思う若い世代を増やすことが重要です。そのためには、安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目ない子育てサポートや経済的支援を充実させるとともに、次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、学ぶことができる環境づくりに取り組めます。



具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

3-1. 切れ目ない子育てサポート

こども家庭センターを設置し、妊娠・出産・子育てに関する包括的な支援を提供します。相談体制の整備や子育て支援サービスの充実を図り、安心して子育てができる環境の整備を推進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
宝っ子すくすくアプリ登録件数	181件（R5）	➤➤ 330件（R11）
産後 EPDS（エジンバラ産後うつ病自己質問票）9点以上の人の割合	5.6%（R5）	➤➤ 5.0%（R11）
保育所保護者アンケートにおける満足度	97%（R5）	➤➤ 98%（R11）

具体的な取組

- ① 充実した相談体制の整備 追加 DX
- ② 乳幼児健康診査 追加
- ③ 児童遊戯施設の整備、管理
- ④ 保育環境の充実 DX

① 充実した相談体制の整備 追加 DX

・妊娠期における妊婦の健康相談や、出産後の乳児家庭全戸訪問、さらには子育て世帯への訪問を通じて、妊娠、出産、育児に関する不安や悩みに寄り添う支援を行います。相談については、「宝っ子すくすくアプリ」を活用したWEBでの相談受付も行い、より多様な相談者のニーズに対応した体制を整えます。また、心理士や保健師が個別に対応する「すこやか子育て相談」の対象範囲を小学生までに拡大し、子育て世帯に寄り添った支援体制の

構築に努めます。

② 乳幼児健康診査 追加

- ・子どもの心身の成長発達状況を定期的に確認することで、健やかな成長をサポートします。令和6年度からは新たに5歳児を対象とした「5歳児すこやか健診」を実施しています。

③ 児童遊戯施設の整備、管理

- ・屋外児童遊戯施設の運営及び維持管理を行うとともに、地域のニーズに応じた屋内遊戯施設の建設を推進します。

④ 保育環境の充実 DX

- ・年齢に応じた教室を開催し、インターネット環境を整備することで、オンラインの幼児教育を推進します。令和2年度から導入している「コドモン」を活用し、家庭との連絡体制を充実させるとともに、ICT化によるペーパーレスを推進します。

3-2. ライフステージに応じた経済支援

結婚、妊娠、子育てを希望する人の経済的負担を軽減し、希望を持って取り組むことができる環境の整備を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値
年間出生数	38人 (R5)	》》	43人 (R11)
子育てしやすいと感じている世帯の割合	43.3% (R5)	》》	53% (R11)

具体的な取組

- ① 婚活サポート
- ② 不妊治療・不育治療に対する助成
- ③ 出産・成長祝い金
- ④ 保育料、保育所副食費の無償化 追加
- ⑤ 小中学校給食費無償化 追加
- ⑥ 子ども医療費、医療的ケア児のサポート 追加
- ⑦ インフルエンザ予防接種費用助成 追加

① 婚活サポート

- ・いしかわ縁結びマッチングシステム（あいきゅん）への登録を促進するため、登録料の助成を行います。さらに、結婚アドバイザーが相談者に対してマッチングや結婚相談を行い、より良い出会いをサポートします。

② 不妊治療・不育治療に対する助成

- ・妊娠を希望する夫婦が経済的な理由で治療を諦めることがないように、不妊・不育治療費の一部を助成します。

③ 出産・成長祝い金

- ・新生児の健やかな成長を願い「出産祝い金」を、また子どもたちの成長に合わせて「祝い金」を支給します。

④ 保育料、保育所副食費の無償化 追加

- ・町内保育所を利用している0歳児から5歳児までの保育料を完全無償化し、さらに3歳児以上の副食費の無償化に加え、完全給食を実施します。

⑤ 小中学校給食費無償化 追加

- ・町内の小中学校に通う児童生徒の給食費を無償化とします。また、町外の小中学校に通う場合については、町の基準額を超えない範囲で助成を行います。

⑥ 子ども医療費、医療的ケア児のサポート 追加

- ・子どもの入院・通院に関する医療費（保険適用分）を、18歳となる年度末まで全額助成します。また、在宅で医療や介護を受ける医療ケア児に対し、経済的なサポートを行います。

⑦ インフルエンザ予防接種費用助成 追加

- ・妊婦及び子ども（高校3年生まで）のインフルエンザ予防接種費用を助成します。

3-3. 主体的に学ぶ教育の推進

子どもたちが学ぶこと自体を楽しみ、自らの興味や関心に基づいて学びを深める姿勢を育むことを推進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値		目標値
中学生の英検3級以上の取得率	20%（R5）	》》	65%（R11）
自分で勉強の仕方を考え、工夫することが出来る児童生徒の割合	—	》》	80%（R11）
A Iドリルの使用割合	—	》》	65%（R11）

具体的な取組

- ① 宝たち検定チャレンジ
- ② 学びの意識改革の支援 追加
- ③ デジタル教育の充実 追加 DX

① 宝たち検定チャレンジ

- ・各種検定料を補助することにより、児童生徒の挑戦意欲や学習意欲の向上を図ります。さらに、学年に応じて英検の検定料を全額補助とすることで、確かな学力を育む環境を整えます。

② 学びの意識改革の支援 追加

- ・学びの意識改革を目指し、特別講師による講座や講演会を開催します。また、休業期間中には中学校において自主学習会を実施し、生徒自ら学ぶ姿勢を育む機会を設けます。また、小学校では算数教室や科学実験教室を設け、思考力、探究心を育む環境づくりを推進します。

③ デジタル教育の充実 追加 DX

- ・AIドリルやデジタル教材を整備し、一人ひとりに個別最適化された学びの機会を提供することで、学力向上を図ります。

3-4. 豊かな人間性を育む学びの推進

次世代を担う子どもたちが心豊かに成長できる環境づくりを地域と協働で取り組んでいきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
コミュニティスクールの開校数	—	3校（R7→R11）

具体的な取組

- ① コミュニティスクールの推進 追加
- ② 国際交流事業 追加

① コミュニティスクールの推進 追加

- ・「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地元企業を講師に招くビジネスアカデミーなど、さまざまな活動を展開していきます。

② 国際交流事業 追加

- ・中高生をオーストラリアへ派遣し、さらにオーストラリアからの生徒を受け入れることで、相互交流を深め、多文化理解を促進し、国際的な視野を持つ人材を育成します。

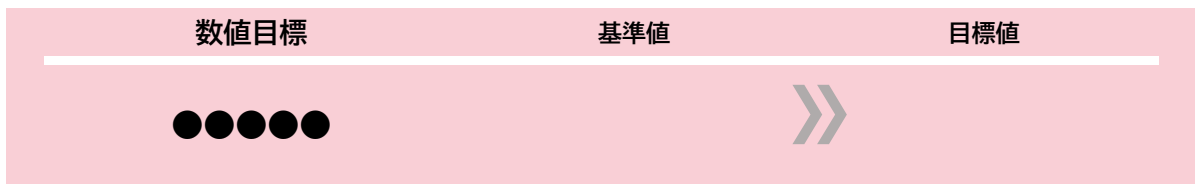
基本目標4



ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的な方向性

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく生き生きと生活できるよう、健康づくりの推進と地域コミュニティの強化に努め、生涯活躍できるまちづくりを目指します。また、安心して暮らせる環境を整えるため、防災力の強化や令和6年能登半島地震からの復興に向けて町全体で取り組みます。また、今後は、学生と協働し、地域の課題解決に向けたフィールドワークの実現を推進します。



具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

4-1. 高齢者が安心して暮らせる環境の整備

地域全体で高齢者を支え合う仕組みを構築し、高齢者が自立し、生き生きとした生活を送れるまちづくりを目指します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
要介護認定率の減少	18%（R5）	➤➤ 17.5%（R11）
介護予防教室参加者の改善率	34%（R5）	➤➤ 50%（R11）

具体的な取組

- ① 介護予防の充実
- ② 認知症支援の充実
- ③ 在宅高齢者のフレイル等予防事業 追加 DX
- ④ 地域包括支援体制の整備

① 介護予防の充実

・高齢者を対象とした「地域サロン」や介護予防教室など、通いの場の更なる充実を図り、介護予防の推進や自立した生活の実現を目指します。

② 認知症支援の充実

・高齢者が安心して生活できるよう、認知症の早期発見及び早期対応の体制を整備し、家族等の負担を軽減するために、認知症施策を推進します。認知症の理解を深めるための知識の普及・啓発を行い、地域における見守り体制や相談窓口の充実を図るなど、支援体制を

整備します。

③ 在宅高齢者のフレイル等予防事業 追加 DX

・高齢者が要介護状態となることをできる限り予防し、住み慣れた地域で自立した日常生活が継続できるよう支援を行います。ITを活用することで、医師、看護師、保健師、ケアマネージャーなどの他職種との連携を強化し、医療・介護サービスの質の向上を目指します。

④ 地域包括支援体制の整備

・高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けるためのサービスの基盤作りを推進します。地域包括支援センターの機能強化を図り、地域の支え合いのネットワークづくりを構築することで、地域全体で高齢者を支える体制を整えていきます。

4-2. 健康づくりの推進

地域全体の健康意識を高め、良好な生活習慣の定着を目指した健康づくりを推進します。特定健康診断や各種がん検診の受診促進を図るとともに、適切な保健指導を実施します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値
健診受診率	54.2% (R5)	》》	60% (R11)
特定保健指導率	66.7% (R5)	》》	80% (R11)

具体的な取組

- ① 特定健診・保健指導の実施
- ② がん検診の実施
- ③ 地域組織の育成の推進

① 特定健診・保健指導の実施

・健康に関する関心を高め、健康づくりの契機となるよう、健診啓発に取り組みます。健診の日程を工夫し、受診しやすい環境を整えます。また、適切な保健指導を実施し、生活習慣病の予防や重症化の防止に向けた取組を推進します。

② がん検診の実施

・がんによる死亡を防ぐとともに重症化予防を目指し、定期的な受診に繋がるよう、がん検診の啓発や周知を継続的にを行います。

③ 地域組織の育成の推進

・健康づくり推進員や食生活改善推進協議会の活動を支援することで、地域コミュニティの力を活用し、地域住民の健康づくりに繋げていきます。

4-3. 災害に強いまちづくり

災害の発生に備え、防災・減災対策を推進し、地域防災力や消防力の強化を図ることで、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。また、能登半島地震からの復旧・復興に向けて、町全体で取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値
指定緊急避難場所数	34 箇所 (R 5)	》》	40 箇所 (R11)
「防災・防犯情報」登録件数 (LINE)	1,361 人 (R 5)	》》	3,500 人 (R11)

具体的な取組

- ① 避難所等機能の強化 追加
- ② 消防施設の整備 追加
- ③ 防災情報等収集・発信力の強化 追加 DX

- ① 避難所等機能の強化 追加
 - ・自然災害や緊急事態に際して、地域住民が安全に避難できる環境を整備し、避難所機能の強化に取り組みます。
- ② 消防施設の整備 追加
 - ・防火水槽の新設及び適切な維持管理を行い、消防水利充足率の向上を図ります。
- ③ 防災情報等収集・発信力の強化 追加 DX
 - ・災害時や緊急時における地域住民への情報伝達を迅速かつ適正に行うため、一斉情報配信システム「すぐメール」や総合防災システム「Riskma (リスクマ)」を活用し、効果的な情報伝達環境を整備します。

4-4. 地域コミュニティの充実

地域住民のつながりを強化し、地域と行政が協働することによって、地域コミュニティの充実を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値
防災士数	168 人 (R 5)	》》	220 人 (R11)
デマンドタクシーの登録者数	359 人 (R 5)	》》	500 人 (R11)

具体的な取組

- ① 自主防災組織活動支援 追加
- ② 地区防災マップの作成 追加
- ③ 地域交通の推進 DX
- ④ 電子回覧板の推進 追加 DX

① 自主防災組織活動支援 **追加**

・自主防災組織の普及や活性化に向けた取組を進めることで、町民の防災意識を高めるとともに、地域防災計画に基づく防災体制の確立や防災対策を推進します。

② 地区防災マップの作成 **追加**

・土砂災害警戒区域に位置する地区を対象に、町民の防災意識を高めるとともに、地区が継続的に防災訓練を行う仕組みを構築することを目的として、地区防災マップの作成を行います。

③ 地域交通の推進 **DX**

・利便性向上を図るため、町営バス、デマンドタクシーの適正運行を行います。また、AIデマンド交通の導入を推進し、利用者の満足度が高い公共交通サービスの実現を目指します。

④ 電子回覧板の推進 **追加** **DX**

・電子回覧板を利用することで、情報を迅速に届けることが可能となり、情報伝達の効率化を図ります。また、自治体の活動にも活用でき、地区内のコミュニケーションの充実を促進します。

4-5. 循環型まちづくりの推進

豊かな自然環境やその恵みを享受した豊かな暮らしを未来に受け継ぐために必要な取り組みを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
住宅用太陽光発電システム等補助金 交付件数	37人 (R2→R5)	100人 (R7→R11)
温室効果ガス削減率		
①町施設	①▲24.2% (R4)	①▲50.0% (R11)
②町全域	②未策定	②▲46.0% (R11)

具体的な取組

① 住宅用太陽光発電システム等補助 **追加**

② カーボンニュートラル推進 **追加**

① 住宅用太陽光発電システム等補助 **追加**

・居住する住宅に太陽光発電システムを設置した方、または設置済みの住宅を購入された方に対して、補助金を支給します。

② カーボンニュートラル推進 **追加**

・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、脱炭素社会の実現やカーボンニュートラルの推進に向けて、地球温暖化対策実行計画の策定を推進します。

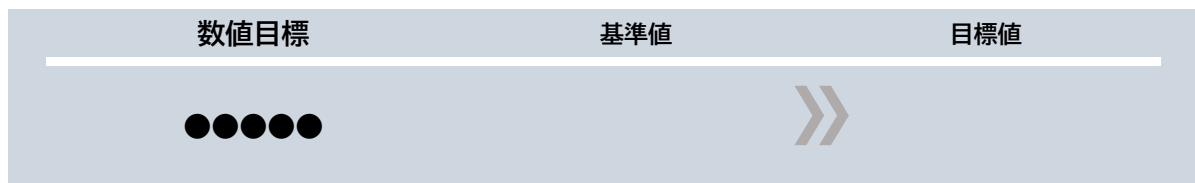
基本目標5



デジタルの力で誰もが便利で快適に暮らせるまちをつくる

基本的な方向性

デジタル技術の活用により、行政サービスの利便性を向上させ、誰もが簡単・便利に利用できる「スマートタウン」を目指します。また、事務作業の自動化・効率化を進めることで、人でなければできない業務の質を向上させます。さらに、各目標におけるDXを活用した取組により、誰もが便利で質の高いサービスを享受できる環境を整備し、豊かな町民生活の実現を推進します。



具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

5-1. 情報発信力の強化

時代の変化を踏まえ、様々なツールを活用して町民が必要とする情報を的確に発信することに努めます。また、まちの魅力を広く伝えることで、知名度の向上を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
宝達志水町公式ホームページへのアクセス件数	445,643件（R5）	600,000件（R11）
各種情報ツールの登録者数	3,571件（R5）	6,000件（R11）

具体的な取組

- ① ホームページやSNSを活用した情報発信の強化 **追加** **DX**
- ② 情報提供システムの整備 **追加** **DX**

① ホームページやSNSを活用した情報発信の強化 **追加** **DX**

・様々なツールを活用し、町民が必要とする情報を的確に発信します。また、まちの魅力を町外はもちろん、町内にも発信することで、地域への誇りと愛着を高め、認知度の向上やイメージアップにつなげます。

② 情報提供システムの整備 **追加** **DX**

・ホームページの充実を目指し、コンテンツの更新頻度を向上させるとともに、ユーザビリティの改善に努めます。また、SNSでの情報発信についても、よりの確に情報を伝えられるよう、時代の変化に応じた情報提供を行います。利用者が求める情報に迅速にアクセスできる環境を整えることで、利便性を高めていきます。

5-2. 地域社会のデジタル化の推進

誰もが簡単・便利に利用できる「スマートタウン」を実現するために、行政における DX を推進します。デジタル化の進展においては、誰一人取り残されることのない社会を目指し、デジタルデバイドの解消に向けた取り組みを強化します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
コンビニ交付発行件数	2,682 件 (R5)	4,600 件 (R11)
DX対応業務数	4 件 (R5)	15 件 (R11)

具体的な取組

- ① マイナンバーカードの活用 追加 DX
- ② 業務DX化の推進 追加 DX

① マイナンバーカードの活用 追加 DX

・マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付など、カード利用サービスの拡大を推進します。

② 業務DX化の推進 追加 DX

・書かない窓口や各種申請、届出手続きのオンライン化など、さまざまな分野においてデジタル技術の導入を図り、町民サービスの向上と行政運営の効率化を推進します。

基本目標5以外のDX関連の取組

- 1-2 ③ スマート農業の推進
- 2-2 ③ 空き家バンク
- 3-1 ① 充実した相談体制の整備
- 3-1 ④ 保育環境の充実
- 3-3 ③ デジタル教育の充実
- 4-1 ③ 在宅高齢者のフレイル等予防事業
- 4-3 ③ 防災情報等収集・発信力の強化
- 4-4 ③ 地域交通の推進
- 4-4 ④ 電子回覧板の推進